

事務連絡
平成24年7月14日

各位

中央農業総合研究センター北陸研究センター
作物開発研究領域
大麦育種担当 長嶺 敬

関東東海北陸農業試験研究推進会議
北陸農業部会 平成24年度 冬作物技術研究会の資料作成のお願い

会議時に各県よりご報告いただく麦作概況、研究概況についての資料の作成についてご連絡いたします。

下記の内容で資料作成いただき、各一部を郵送またはメールで下記提出先まで9月10日までにご提出ください。

1. 別紙1様式で資料作成して下さい（生産概況＋品種動向＋実用技術編成等の資料）。
2. 各県の麦に関する試験研究状況あるいは現地の課題などがわかる資料（概要、研究発表、その他）各県2課題程度（ページ数は自由）。これをもとに2日目の「各県のおもな麦類研究成果についての検討」をすすめます。
- 3.

提出先 問い合わせ先

〒943-0193 上越市稲田1-2-1

事務局：中央農業総合研究センター北陸研究センター 作物開発研究領域（大麦育種）
長嶺 敬 naga@affrc.go.jp TEL 025-526-3246(直通) FAX 025-524-8578

締め切り日：9月10日

1. 最近の麦作動向

1) 麦種別作付面積の推移 (h a)

収穫年度 (平成)	品種名	21年産 面積(ha) 比率(%)	22年産 面積(ha) 比率(%)	23年産 面積(ha) 比率(%)
	小麦			
	六条大麦			
	二条大麦			
	はだか麦			
	計			

2) 品種の作付動向

2. 本年度の気象、生育概況及び問題点

3. 奨励品種の改廃、奨励品種候補 (予定を含む)

4. 有望系統とその特長

5. 今後の麦作推進方向

6. 育成地への要望

昨年度の北陸農業部会で麦については北陸で連携した形での実用技術応募に向けた準備を行うことで合意しました。関連して、以下の状況について意見をお願いします。

7. 「北陸麦実用技術」編成に向けた自県の研究取り組み及び想定担当課題

8. 各県産麦の品質評価（実需データ）の県間共有に向けた問題点

（他地域では農政局単位で品質協議会が編成され、新品種候補などの実需者品質評価データを共有しています。北陸では県間でのデータ共有がありませんが、どうしますか？）

9. 北陸共通新品種の検討や硝子粒問題対応に向けた連携試験の可否・問題点

（硝子粒問題対応、麦茶用品種対応、パン用小麦対応などで県間での連携を図りたいとの意見を多く聞きますが、どうしますか？）